

すばるの

日常活動紹介

和田 彰

Aさん(横地分類B1)は、『幸せなら手をたたこう』の歌をよく聴いています。「トントン」のところで職員が木魚を鳴らしたり本人の体にタッチングをしたりすると、体の動きを止めて歌いかけをより集中して聴いていました。歌のアクセントとなる部分が楽器の音やタッチングで強調されることで、よりじっくり

聴くのだと思います。「クラリネットをこわしちゃった」を職員が歌い、「どーしょ」の後で笛を鳴らしました。1番を歌い、2番の「どーしょ」の後で今度は本人の口元に笛を持っていくと、笛が口元に来たことに気づいて音を出してしまいました。もう一度歌いかけると、職員が本人の口元に持つていく前に、口をとがらせて笛を吹こうと待っていました。笛をくわえると勢よく真剣な表情で吹きます。音を鳴らす部分を待ったり、タイミングを計ったりしている

ようでした。歌が終わった後、職員が「うまくできましたねー」と肩に手を添えると満足そうに笑い、歌に合わせてできたという嬉しさがあるようでした。

Aさんは、日常で使っていることばの理解が一部あり、ごはんを食べますか、という声かけに「くう」と返事をすることがあります。また、職員が何かを床に落としたりゴトンと音がすると、「おっちゃったー」と、物が落ちたことを想像していることばが

くる話を語りかけました。風は体感できるようにうちわを使って風を起こし、ドアをノックする音は本をノックしました。鳥の鳴き声は効果音の出るキーボードで鳴らし、水道の蛇口から落ちる水滴の音はタブレット端末のアプリケーションを使って音を出しました。語りかけている時は、肩に力を入れ、真剣な表情で聴いていました。風を起こすと目を細め、外の強い風を想像しているようでした。ドアのノックの音がすると、真剣な表情でじっと動きを止め、不安そうでした。鳥の鳴き声や水の音がすると顔の向きが変わり、散策の風景を想像していたかも知れません。語りや音、体で感じたことから場面を想像し、音と場面の一致感がおもしろかったようでした。

横地分類(改訂大島分類)

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

〈知的発達〉

E6	E5	E4	E3	E2	E1	簡単な計算可
D6	D5	D4	D3	D2	D1	簡単な文字・数字の理解可
C6	C5	C4	C3	C2	C1	簡単な色・数の理解可
B6	B5	B4	B3	B2	B1	簡単な言語理解可
A6	A5	A4	A3	A2	A1	言語理解不可

〈特記事項〉

- C: 有意な眼瞼運動なし
- B: 盲
- D: 難聴
- U: 両上肢機能全廃
- TLS: 完全閉じ込め状態

戸外歩行可	室内歩行可	室内移動可	座位保持可	寝返り可	寝返り不可
-------	-------	-------	-------	------	-------

〈移動機能〉



聞かれます。日常のやりとりの中で使っていることばとの一致や、生活音から動作や物事を想像しているようです。そこで、日常で聞こえてくるような、様々な生活音が出て

あさひの

日常活動紹介

幸田 沙織

Aさん(横地分類A1)は、頭をゆっくりと左右に動かしたり腕を動かしたりしています。近くで話す職員の声やさまざまな生活音がすると、動きを止めてよく聴いています。



職員の話しかけに声を出して笑っている時、少し離れた場所から、ツリーチャイムの小さく響く音が聞こえてきました。音が聞こえると、気持ち

ちを音に向けるようにして静かになり、頭の動きを止めました。どこから聞こえてくるかを探すように目を上の方に向きました。音の響きが消えるまで、真剣な表情でジッと聴いている様子がありました。トーンチャイムの音の響きを聴く活動を行いました。トーンチャイムを持って隣に座ると、存在に気付き、頭を少し職員の方に向けるようになって、何かを期待しているようでした。Aさんを見つめてトーンチャイムを「ポーン」と鳴らすと、動かしていた手